

562.3.9



氏行信梨葉

衆議院議員、自治大臣兼国家公安委員長。昭和三年原宿で生れ、昭和十六年中へ入学。水戸高、北大理学部卒、同大修士課程学研究科修了。福田一通産大臣秘書を経て、国会入り。

一月二十日、大臣室で、初対面のご挨拶。

校長先生のような雰囲気

いう時代でしたから、頭が飛び切りいい人は一中へ、その次で運動好きが行くのが六中でした。やはり印象に残っていることの一つは体操ですね。僕はあまり得意ではなかったので大変でした。

石田先生（アンパン）

のご指導で、サッカーに打ち込み、気分が悪くなることもしばしばでしたが、当時鍛えられたことが、今日の体力の基礎になったのだと感謝しています。軍事教練もありましたが、

皆勤でした。寒稽古は、朝五時頃起きて、真暗な道を白い息をはきながら学校へ行って練習しました。又、耐寒行軍といって、夜九時頃、マントを羽織って集まり、新宿の学校から烏山まで夜通し歩くんです。途中で、けちん汁が出ました。おいしかったですよ。

ガリ勉の人もいました。が、一体にやんちゃで、友情には厚かったですね。今もってつながりがあるということでしょう。

俳優の小山田宗徳君（故人）とは同級で、彼がクラス代表、僕が副代表だったのですが、彼は仲間三、四人で毎日学校が終ると映画を見て廻るんです。

今思うと、よくお金があったなあーと感心します。

あまり忘れ、先生は心配で、心配で……、後で大変叱られました。一途で、真面目で、生徒一人一人をそれぞれ親身になって指導して下さいました。

数学の野田先生の奥様の名前が、すみこさん。先生の授業の時は、黒板消しを黒板のすみっこに置き、捜されるのをはやしたてたり……。長い棒の先に靴をのせ、天井へ、さも誰かが歩いたように足跡をつけたり……。いたずらっ子が多かったなあ。」

思い出話はずきることなく、もの静かな語り口で、六中時代を懐かしく思い起されているのでしょいか、楽しそうに、こちらもつ